

2018年9月映画興行部門興行成績速報

9月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

687スクリーン **興行収入** **5,558,610,598 円** **(前年比 140.1%)**

※楽天地シネマズ錦糸町は7月2日より改装のため休館しています。(11月中旬再開予定)

9月主要稼働作品

『コーヒーが冷めないうちに』『響 -HIBIKI-』『散り椿』『累 -かさね-』『プーと大人になった僕』『MEG ザ・モンスター』『ザ・プレデター』『スカイスクレイパー』『検察側の罪人』『SUNNY 強い気持ち・強い愛』『カメラを止めるな!』『劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-』『クワイエット・プレイス』『劇場版夏目友人帳 ～うつせみに結ぶ～』『銀魂 2 掟は破るためにこそある』『マンマ・ミーア! ヒア・ウィー・ゴー』『アントマン&ワスプ』『ミッション:インポッシブル/フォールアウト』『インクレディブル・ファミリー』『君の隣臓をたべたい』他

1月から9月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **51,847,103,978 円** **(前年比 98.4%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上